平成２４年度

岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」の即戦力育成プログラム１２

受講生募集要項

岡　山　大　学

岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」の即戦力育成プログラム

の目的

人材不足のため産科医療は崩壊し、全国で分娩難民が発生しています。このため、産科医、助産師、看護師間の役割分担の再考とパートナーシップの強化が必要となっています。また、女性への支援の観点からは、助産師、看護師、保健師の役割は増しており、妊婦以外にも、不妊・不育（流死産を繰り返す）女性、子育て女性への支援は重要になっていますが、実践する専門家は非常に不足しています。

助産師免許や看護師免許を取得しながら結婚、妊娠、子育てのため家庭に入った女性達や、コミュニケーション能力不足で人間関係を築けず辞職した新卒助産師・看護師達は、元来、この分野に関心が高く、就労する意欲も強いことから貴重な人的資源であり、その復帰支援は実効性のある施策です。

「妊娠中からの母子支援」の即戦力育成プログラムでは、この取り組みの中で、現役で周産期医療・母子保健を担当している医療スタッフにステップアップした実践能力と幅広い見識を得ていただくとともに、種々の不安と制約を抱える非就労助産師・看護師と新卒助産師予備軍である現役助産学生とが、互いに人間関係を築きながら、ステップアップした実践能力と自信を獲得してもらいたいと考えています。また、この結果、多様な就業形態を選択可能とし、やりがいを持てる各種現場への復帰、就職を促進できることを目的としています。

岡山大学大学院保健学研究科では、このプログラムの趣旨にそった意識と意欲を持った受講生を求めています。

Ⅰ．募集人員　　15名程度

Ⅱ．応募資格等

助産師免許・看護師免許取得者、岡山大学医学部保健学科在籍中の助産、看護学生（平成23年3月までに卒業する見込みの者）、および、岡山大学大学院保健学研究科長が適当であると認めた者

Ⅲ　出 願 期 間

平成２３年１１月１４日（月）～平成２４年1月１３日（金）午後５時〔厳守〕

（郵送の場合は、平成２４年１月１４日（土）以降に到着したものについては、平成２４年１月１３日（金）の消印のものまで受理します。）

Ⅳ　申 込 手 続　等

１．申込方法及び提出先

(1)　志願者は、封筒に「提出書類」を一括して入れ提出してください。
なお、郵送による場合は、書留郵便をご使用ください。

(2)　提出先
〒700-8558　岡山市北区鹿田町２丁目５番１号
医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ
医学部保健学科・保健学研究科担当（管理棟２階）

2. 提　出　書　類

(1) 履歴書　（様式１）

(2) 封筒　１通（長形3号〔235㎜×120㎜〕の封筒に返信先住所・氏名を記入し、90円切手を貼付してください。）

Ⅴ　受講者選抜の方法

○　応募者多数の場合は、就労・非就労状況、志望動機等と、提出書類とを合わせ、総合的に判断し、選考委員会にて判定します。

Ⅵ　確定した受講者の発表

平成２４年２月初旬
受講申込者には通知書を郵送します。
なお、合否についての電話による問い合わせには、お答えいたしません。

Ⅶ　オリエンテーション

１．日　　時　　：　平成２４年２月下旬（予定）

２．開催場所　　：　岡山大学医学部保健学科棟

Ⅷ　プログラムの概要

１．カリキュラムの内容

３つの学びのカリキュラム

「産科の最新知識と産科超音波検査技術」、「新生児・子育て家族への支援」、「不妊症や流死産女性への支援」の３つの現場から専門スタッフを講師としてお呼びし、岡山大学大学院保健学研究科において、実践に即した講義と活きた実践技術を学びます。また、それぞれの現場を実際に見学し、あるいは、中に入って実践していただき、実践能力を身につけていただきます。

１．　産科医療の最新知識、産科超音波検査技術を学ぶ

妊娠中から分娩までを通して総合的に妊婦を支援できる能力を獲得し、自立とともにその他の職種との協働ができる能力を身につけます。

「胎児の正確な計測と成長の評価」「胎児・胎盤・羊水の大きな異常の基本的なスクリーニング」「3D、4D 画像を用いた胎児の観察」が出来ることを目標とします。また、胎児を観察しながら妊婦や夫と良好にコミュニケーションが取れるようトレーニングを行います。

２．　新生児・子育て家族への支援を学ぶ

産後の身体的、精神的トラブルに関する医学的知識、産科医院でも役立つベビーマッサージの技術、子育て支援のための社会資源の活用法などを学びます。

これにより、「分娩後の母親のための医学的知識」を獲得し、「子育て支援のための社会資源へのアクセス」、「産後うつ、児への虐待予防、障害児家庭支援のための地域連携」を体験し、自己の住む地域での母子保健行政への参入、子育てボランティア活動の参加を促進する。また、地域の核となる指導者を養成することを目標とします。

３．　不妊症や流死産女性への支援を学ぶ

不妊症、不育症に関する医学的知識、生殖医療に伴う生命倫理、看護カウンセリングの理論と技術、行政からの助成金制度などを学ぶとともに、実習としてクライアントへの対応や、死産が発生した場合の支援を行います。

これにより、「不妊症、不育症に関する医学的知識」、「不妊症、不育症カップルに対する支援能力」、「死産を乗り越えるための支援」、「適正な生命倫理観」を獲得することを目標とします。

- 産科超音波の基礎
- 各種妊娠合併症の管理
- 正常分娩の落とし穴
- 胎児心拍モニターによる新しい分娩管理法
- 新生児蘇生法
- 赤ちゃんを観る
- ベビーマッサージ
- 乳房管理、乳房マッサージ
- NICU 卒業児のその後
- 妊娠中からの虐待予防
- 妊婦の DV、デート DV の実態
- 母子訪問看護で観察する目を養う
- 北米、北欧型継続的子育て支援
- 地域での子育て支援
- 性教育の実践
- 不妊症、不育症の基礎知識
- 流産、死産のケア

など

２． 受講について

岡山大学大学院保健学研究科での講義や演習をはじめ、病院や相談センターなどの各現場の施設見学や子育て支援活動への参加など、1 年を通じて 15 回以上の講義と演習を受講してもらいます。

Ｅ－ラーニング（パソコン学習）を利用し、自分のスケジュールに合わせての自宅学習や授業時間外学習も可能です。セミナーも Ｅ －ラーニングで参加できますが、実際に演習を行うことで技術を身につけることも必要ですので、できる限り実地の演習を受けてください。

テストやレポートなどにより受講者の知識や技術の習得状況の中間評価（９月を予定）を行い、それぞれの習得度に合わせて支援を行います。

プログラム修了の評価（２０１３年２月）を経て、受講者には岡山大学大学長より履修証明書を授与します。

募集要項・出願書類の請求

希望者は、角型 2 号返信用封筒（332mm×240mm）に、住所、氏名、電話番号（携帯番号）を明記、郵便切手 140 円分を貼付したものを同封して、
「『妊娠中からの母子支援』の即戦力育成プログラム 12　募集要項請求」と朱書のうえ下記に請求して下さい。

〒700－8558
岡山市北区鹿田町２丁目５番１号
医歯薬学総合研究科等 学務課教務グループ 医学部保健学科・保健学研究科担当
Fax：086-235-7045